

(1) 無電柱化デザイン

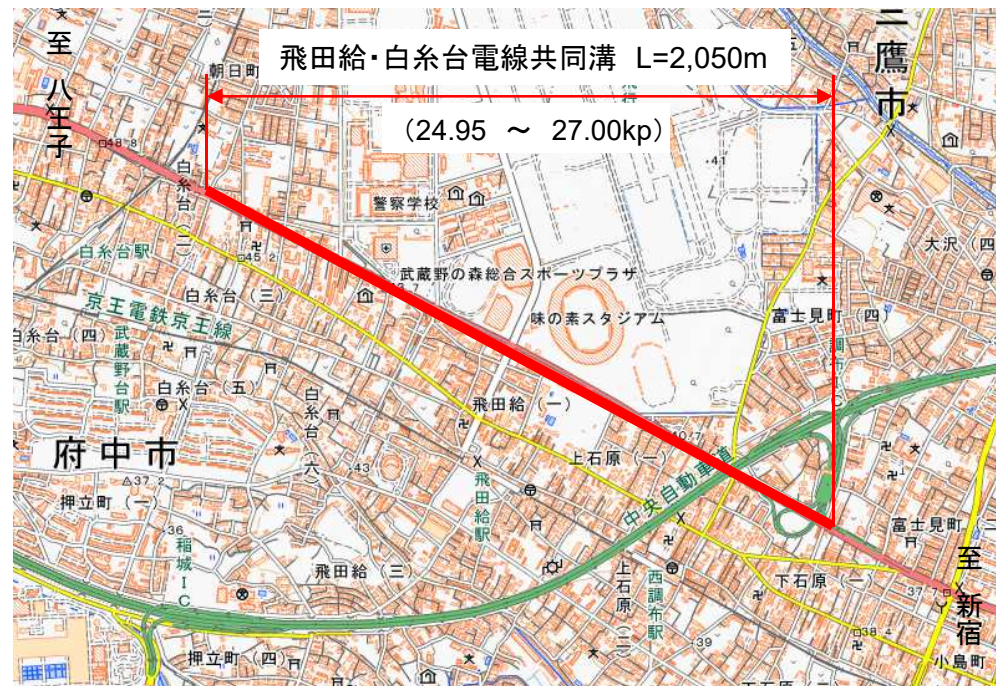
国道20号味の素スタジアム前の修景検討(1/3)

検討テーマ

- (1) 狭隘な歩道幅員を考慮した地上機器設置位置の変更
- (2) 低地上高型地上用機器の適用

事業名：国道20号飛田給・白糸台電線共同溝	
路線名	国道20号（東京都調布市）
事務所名	相武国道事務所
実施年度	平成27年度～平成31年度
事業箇所	東京都調布市飛田給・府中市白糸台
事業延長	4.1 km（道路延長：2.05 km） ※景観検討区間：約1.0km
検討区間の概要	国道20号飛田給・白糸台電線共同溝は、電線類を地中化することにより、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを目的とした、東京都調布市下石原1丁目から東京都府中市白糸台3丁目に至る延長4.1 kmの共同溝整備事業。 【景観検討概要】 当該区間には、府中市と調布市の市境があり、両市の味の素スタジアム周辺の都市計画マスタープランでは、緑化の推進や文化・交流の拠点として位置づけられ、調布市の景観計画では国道20号（甲州街道）は「景観重要公共施設」に指定されているため、味の素スタジアム前の約1.0km区間において、無電柱化後の歩道空間について、景観検討を実施。

位置図



出典：地理院地図

整備前の状況



(1) 無電柱化デザイン

国道20号味の素スタジアム前の修景検討(2/3)

検討テーマ	課題	改善策・検討内容等	対応策
地上機器の設置位置の変更	・ 歩道空間の連続性の確保	・ 地上機器の設置位置について、道路用地外へ移設することにより、歩道空間の連続性の確保が可能	・ 歩車道境界部に設置予定の地上機器は、東京都及び東京電力と調整を行い、東京都用地へ設置することで、歩道空間の連続性を確保

改善前



整備後

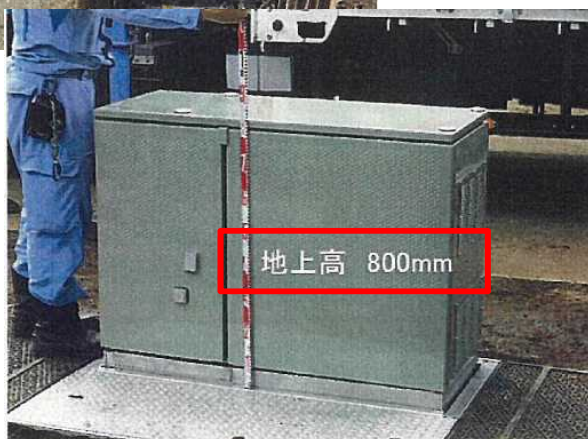


(1) 無電柱化デザイン

国道20号味の素スタジアム前の修景検討(3/3)

検討テーマ	課題	改善策・検討内容等	対応策
地上機器の 小型化	地上機器の設置による圧迫感の解消や見通し等の確保	視認性確保等の観点より、地上機器（変圧器・開閉器）の小型化の開発を検討	- 東京電力へ開発を依頼（地上高さを抑えた地上機器（変圧器）の開発） - 小型化した地上機器（地上高1,450mm→800mm）の採用

低地上高型機器の開発状況



整備後

